

第5小委員会

音 楽
(器楽合奏)

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	器楽・751	中学器楽 音楽のおくりもの
取 扱 内 容	<p>○ 各分野、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、<u>音色と奏法のかかわりや曲想と音楽の構造とのかかわりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</u> ・〔共通事項〕については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、<u>音色と奏法とのかかわりを理解したり</u>、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、<u>「不思議な旋律」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。</u> 			
排 列 分 量 等 ・ 内 容 の 構 成	<p>○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、<u>新しい音の運指やいろいろな奏法を身に付け</u>、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 多様な音楽に触れることができるように、<u>世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージを通じて、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</u></p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、<u>「何が同じで、何が違う？」</u>において、<u>吹く楽器と弾く楽器の共通性と固有性を考えて特徴をまとめる活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</u></p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、<u>配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動に対応できるよう、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</u></p>			
そ の 他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

別紙様式 1

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観 点	27・教芸	第1学年 第2学年 第3学年	器楽・752	中学生の器楽
取 扱 内 容	<p>○ 各分野、次のような学習活動を取り上げ、目標が達成できるようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、<u>曲の構成や音色、強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法やパートの役割を考え、全体の響きをかめながら演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</u> ・〔共通事項〕については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、<u>曲の構成を理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。</u> ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「<u>深めよう！音楽</u>」において、<u>学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、パートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。</u> 			
排 列 内 容 の 構 成 等	<p>○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、<u>練習や演奏のポイント等を参考にして、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</u></p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 多様な音楽に触れることができるように、<u>様々な打楽器の奏法を掲載したり、ピアノ奏者からのメッセージを用いて、自ら考える力を引き出したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</u></p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、<u>和楽器奏者からのメッセージを通じて、楽器の特徴を理解する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</u></p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、<u>白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動に対応できるよう、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</u></p>			
そ の 他	<p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			